

「議案第 30 号 令和 5 年度守口市一般会計予算」

本委員会が付託を受けました議案第 30 号中、所管費目に関する審査の結果を御報告申し上げます。

本委員会といたしましては、あらゆる角度から検討を加え、慎重に審査を行いました結果、次に申し述べます希望意見を付し、満場一致をもって、これを原案どおり可決すべきものと決した次第であります。

それでは、本委員会が付した希望意見を申し述べます。

第 1 点、地域コミュニティ協議会については、各地域の自主的・主体的な活動を支援するため、補助金の支給や協議会の合併時による加算などを行っているところであるが、今後、地域ごとの人口の格差や担い手不足など、課題や実情も踏まえつつ、引き続き、地域コミュニティ活動の活性化に向け、補助金の在り方はもとより、実績報告や精算手続の簡略化などについても研究を深められたいこと。

第 2 点、今後、解体が予定されている庭窪コミュニティセンターやクリーンセンター旧第 4 号炉焼却施設については、これまでから各施設の解体工事の際に指摘しているとおり、工事期間中における安全確保や振動等の対策をはじめ、周辺住民への丁寧な説明や対応に努めることはもちろんのこと、施工業者と連携を密にし、過去の解体工事の経験を踏まえつつ遺漏なきよう進められたいこ

と。

第3点、防犯カメラについては、平成28年に市内全域に約1,000台設置して以降、刑法犯認知件数が減少していることから、犯罪抑止に一定の効果が期待できるところである。新年度に機器の更新を迎えるに当たり、設置台数の増加や機能性の向上が予定されていることから、今後、設置箇所の選定に当たっては、警察と綿密に協議を重ねるとともに、町会等を通じた丁寧な説明や地域住民の意向などにも意を配しつつ、安全・安心なまちづくり、ひいては地域の防犯意識向上へと寄与するものとなるよう取り組まれないこと。

第4点、市立図書館については、令和2年の開館以降、読書や生涯学習活動だけでなく、交流スペースの設置やイベントの開催、さらには課題となっていた駐輪場整備などにより、さまざまな世代から親しまれ、利用されているところであるが、自習室については利用者が多く、とりわけ、休日には満室となるなど、利用者ニーズが高い状況である。引き続き、指定管理者と綿密に連携し、利用実態を的確に把握することはもちろんのこと、例えば、会議室等を一時的に自習室として開放するなど、誰もが利用しやすい施設となるよう、さまざまな方策について検討を重ねられたいこと。

以上、委員長報告といたします。